

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2016/12/02 ~ 2017/02/15		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160586026501	科目番号 / Subject code	05860265
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 14511_005		
授業科目名 / Subject	変わり行く社会を生きる1 (社会とマスメディア) / Role of mass media in modern society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	川越 明日香 / Kawagoe Asuka, 高橋 信雄 / Nobuo Takahashi, 内野 成美 / Utino Narumi, 矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	川越 明日香 / Kawagoe Asuka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	川越 明日香 / Kawagoe Asuka, 高橋 信雄 / Nobuo Takahashi, 矢野 香 / Yano Kaori		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部、歯学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawagoe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部254-1号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2773		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールか電話でアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ことばや映像を活用して社会にメッセージを発信する新聞、ラジオ、テレビ、インターネットを取り 上げ、その中でのことばの使い方や映像の工夫などを理解するとともに、それらを批判的に受 け取り、論理的に考える態度の育成を図る。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスメディアが社会の事象をどのように取り上げ、表現するかを理解することができる。(、 、、)</li> <li>・マスメディアからの発信をどのように受信すれば良いかを理解することができる。( )</li> <li>・自己の意見を持ち、それを相手に向けてどのように発信すれば良いかを理解し、実践できる。 (、、)</li> </ul>		
授業方法 (学習指導法) /Method	担当は、川越、矢野、高橋の3名である。この授業においては、予習を重視し、それをもとにした授 業展開を中心とする。学生一人ひとりがそれぞれの課題に向き合い、意見を持って積極的に授業に 臨むことが重要となる。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	マスメディア、マイメディア、新聞、ラジオ、テレビ、インターネット、批判的思考、論理的思考 、自己表現		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	新聞やテレビ、ラジオ、インターネットなど、身近なマスメディア。 このほか、授業で使用するテキストを1冊購入していただきます。詳細は授業内で指示をします。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業外課題(4点×7回)+授業内活動(32点)+試験(40点)=100点のうち、60点以上を合格とし ます。 なお、授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格とする。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	予習する態度が身についていること。自分の考えをまとめることができること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	今の社会、ひいては将来の社会の姿を作っているのは、私たち一人ひとりです。しかしその私たち 一人一人は異なる意識や視点、経験を持っています。そうした“個”を意識するとともに、社会と いう“集団”の中で対応する力をつけるべく、本モジュールでは、私たちが生きる社会の変化につ いて学び、これからの社会の在り方について考える機会にしましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	12月8日(木) オリエンテーション 担当: 川越		
第2回	12月8日(木) 自己紹介 担当: 川越		
第3回	12月15日(木) 学生生活とメディア 担当: 川越		
第4回	12月15日(木) ラジオ・テレビの役割 担当: 矢野		

第5回	12月22日(木) 新聞の役割 担当:高橋
第6回	12月22日(木) 私にとってのフロントランナー 担当:川越、矢野
第7回	1月12日(木) プレゼン技術習得法 担当:矢野
第8回	1月12日(木) プレゼン技術習得法 担当:矢野
第9回	1月19日(木) フロントランナーとしての私 担当:川越・矢野
第10回	1月19日(木) フロントランナーとしての私 担当:川越・矢野
第11回	1月26日(木) 多様なメディア 担当:高橋
第12回	1月26日(木) 多様なメディア 担当:高橋
第13回	2月2日(木) 新聞紙面作り 担当:新聞社員
第14回	2月2日(木) 新聞紙面作り 担当:新聞社員
第15回	2月9日(木) 定期試験 担当:川越
第16回	2月9日(木) 振り返り 担当:川越・矢野

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2016/12/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160586026701	科目番号 / Subject code	05860267
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 14531_005		
授業科目名 / Subject	変わり行く社会を生きる1 (心と社会) / mind and society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	内野 成美 / Utino Narumi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	学校教育教員養成課程2年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	soudan@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部シンフォニー 1階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2297		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時 まずはメールで確認を		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	心とことばの関係を臨床事例を通して理解する。また、カウンセラーの役割を通すなかで、ことば を用いて相手を理解し、自己を表現する方法を身につける。		
授業到達目標 / Goal	コミュニケーションを支えることばの意義を理解することができる。 ことばの持つ内面性について理解することができる。 多様な言葉を使って、適切なコミュニケーションができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義と対話、フィールドワーク		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	カウンセラー 心理相談 臨床心理士		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。授業時に資料を配付する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業参加度・演習 (40%), 小レポート (30%), まとめのレポート (30%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	対人関係及び心理学に興味を持ち、積極的に活動にも参加できる意欲のある学生を望みます。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	適宜指示する		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	自己紹介・他者理解		
第3回	自己紹介・他者理解		
第4回	ことばの発達について		
第5回	ことばの発達の遅れについて		
第6回	心とことばの発達のまとめ		
第7回	コミュニケーション 非言語的コミュニケーション		
第8回	コミュニケーション 傾聴訓練		
第9回	自分を説明する		
第10回	他者をよりよく理解する		
第11回	対人関係の困難について		
第12回	対人関係の困難について		
第13回	心に寄り添う		

第14回	アサーション・トレーニング
第15回	アサーション・トレーニング
第16回	まとめのレポート

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160586026901	科目番号 / Subject code	05860269
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 14521_005		
授業科目名 / Subject	変わり行く社会を生きる1 (ジェンダーと社会) / Gender and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	植木 とみ子 / Tomiko Ueki, 内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	tuterrace@kzh.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	eメールにて随時受付ます		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	日本語がいかにジェンダーと結びついているかを考察する		
授業到達目標 / Goal	社会的に造られて来た「ジェンダー観」について疑問をもち、グローバルスタンダードを理解する		
授業方法 (学習指導法) / Method	課題に関して調べて来た事、考えて来た事をディスカッションの中で、個々人がこれまでとらわれて来た固定観念を考え直すきっかけにする		
授業内容 / Class outline / Con	調査、ディカッション、発表、振り返り		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	プリント配布		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	課題 30%、授業参加 30%、試験 40%		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	常に社会の出来事をチェックし、自分との関係を考えること		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	「かわいい」ということばについて、1		
第2回	「かわいい」ということばについて、2		
第3回	歌に表現された女性、1		
第4回	歌に表現された女性、2		
第5回	名言やことわざの中の女性、1		
第6回	名言やことわざの中の女性、2		
第7回	女性に関する形容詞、1		
第8回	女性に関する形容詞、2		
第9回	教科書の中の男性と女性、1		
第10回	教科書の中の男性と女性、2		
第11回	男ことばと女ことば、1		
第12回	男ことばと女ことば、2		
第13回	女ことばの政治的機能、1		
第14回	女ことばの政治的機能、2		

第15回	問題に立ち向かうために
第16回	